

2018

4月号

あさお市民活動レポート

平成29年度麻生区地域課題対応事業
「あさお市民活動レポート」第2巻第20号
発行日：平成30年4月1日あさお
るれんずAsao
friends

発行元：認定NPO法人あさお市民活動サポートセンター

いろいろな制度を活用して
地域活動をアクティブにもっていきましょう！

昨年度の応募団体「グループとも」による公開プレゼンテーションの様子

現在、麻生市民交流館やまゆりに利用登録をしている団体は600を超えている。それらの団体に「今、何に困っているか」とアンケート調査を実施したところ、「高齢化で後継者がいない」「情報発信に苦労している」という回答のほか、「次のステップに進むための活動資金がない」などの課題が浮き彫りになった。

これらに対し、麻生区では「地域コミュニティ活動支援事業」を平成21年度から毎年実施。今までに、多くの団体がこの制度を活用して活動資金の助成を受けている。

応募できる団体は、麻生区に活動拠点があり、メンバーが5名以上の団体。気軽に参加でき、地域の新たなコミュニティづくりにつながる個別の事業（3年限度）となっている。



今年で3回目になる「岡の上のサーカス」「山猫団」が子どもたちと共に作り上げた

平成29年度は、3年目を迎えた「グループとも」「山猫団」のほか「心に星を市民プロジェクト」「おもちゃと遊びの会」「平和を願う会」「ふらっと新百合ヶ丘」が助成を受けた。

6団体は興味深い内容を実施しており、平成30年4月9日（月）13時30分から「やまゆり」で行われる事業報告会（傍聴自由）で活動の成果が発表される。

また、平成30年度の応募者説明会が報告会終了後に同館で行われるので、応募を考えている団体は参加のうえ、5月1日（火）13時30分から行われる公開プレゼンに備えてほしい。

Topics

●麻生区市民活動団体検索システム

(http://asao-act.org/)

本サイトは、地域活動（市民活動）をはじめたい方と、市民活動をしている団体との橋渡しサイトとして2017年4月に立ち上げられました。

“やまゆり”からはすでに150団体が登録されています。

この検索サイトを活用して仲間づくりを進めませんか。



「平和を願う会」森政さんの講演



「心に星を市民プロジェクト」祭り

お知らせ

●今年も「やまゆりフリーマーケット」が開催されます。

皆さんが保有されている“捨てるに忍びないもの”を断捨離し、売上を活動資金にされてはいかがでしょうか。



掘出物を見つけるのもフリマの醍醐味

開催 5月27日（日）

10時～15時

申込 4月27日（金）まで
10団体（抽選）

場所 麻生市民交流館やまゆり

手作りの魅力を伝えたい

スイーツを楽しむ会



ホイッパーとヘラを交互に使って生地とメレンゲをまぜる！
これがふんわり食感のコツ

ツを念頭に置き、ちよつと手を加えるだけで大満足のケーキが完成。口の中で広がるふわあとした食感。今回はバターでなくサラダ油が使われ、生クリームには小豆が入っている。一戸さんのこだわりは「健康に良い食材」がある。以前、宮前区の野菜コンテストで小松菜の豆腐ムースが区長賞に選ばれた実績もある。

り、小豆や胡麻、麴、おから、味噌入りケーキなどお薦めの食材は沢山あるという。
ケーキ作りの修業をしたくていくつものケーキ屋に飛び込んだ経験やアイデアレシピなど話が尽きない一戸さん。「私の持っている技術を全て伝えたい」と思いを語る。会員募集中だが、その都度の参加も可能だ。ぜひ、一戸流魔法のスイーツを味わって欲しい。

古代史の謎解きに出掛けよう！

邪馬台国の会 川崎支部

邪馬台国はどこか？ 卑弥呼の墓はどこか？ そもそも卑弥呼とは？ 集まった会員同士で議論が続く。

日本の古代の謎は多い。我が国には当時の文献が無いので、西暦三世紀に書かれた中国の正史である「三国志」の「魏志」に「倭人伝」があり（俗に「魏志倭人伝」と言われる）、それを読み解いて当時の我が国の姿を知ることから謎解きは始まる。近年発掘調査も科学的手法が発達して、遺物の推定年代も正確になってき

たが、それでもさまざまな謎が残る。

学生時代から歴史に興味を持っていた代表の末永時和さんは、安本美典先生主宰の「邪馬台国の会」に入会し、理事にも推薦されて研鑽を積んだ。やがて、研鑽の努力が認められて、古代史を勉強しているグループに講師として招かれるようになり、これまで50回の講演をこなしてきた。

そうこうしているうちに、「やまゆり」が区民講師を募集していることを知り、「日本の古代の謎 邪馬台国はどこか？」という講座で応募し

DATA

スイーツを楽しむ会

代表：一戸（いちのへ）

連絡先：Tel. 044-322-0154（18時以降）

設立：2017年12月

会員数：12名

会費：1500円（教材費込み）

今後の予定：4月23日バターケーキ、5月14日マルグリット、6月12日ムーストルテ

時間：9時～12時

活動場所：麻生市民館 料理室

取材・文 区民記者 但木ここ

DATA

邪馬台国の会 川崎支部

代表：末永 時和（すえなが としかず）

連絡先：Tel. 044-955-3201

E-Mail sue0418@mti.biglobe.ne.jp

設立：2012年4月

会員数：17名

会費：2500円/年

活動日：毎月第1木曜 14～16時

活動場所：麻生市民交流館やまゆり

URL：<http://www5e.biglobe.ne.jp/~yamatai/>

たところ、多くの申し込みがあった。そこで、地元の退職者を中心に古代史をテーマにしたグループを2012年4月に講座を聴講された14名で立ち上げた。
例会の前半は末永さんが「邪馬台国の会」での安本先生などの講義を再講義し、後半はそれをもとにして会員同士で、意見交換あるいは反論あるいは新説を打ち出すなどして切磋琢磨している。例会后はお茶を飲んだり、偶には遺跡を訪ねたりして親睦を深めている。

みんなで紡ぐハーモニー コーロ・マスキーレ・あさお



辻端先生の指揮のもと、熱心な練習を重ねている

昨年、創立20周年記念公演を麻生市民館で開いたのに続き、ことし9月15日には3部構成の演奏会を同館で行う予定だ。

メンバーは60代以上のシニア層中心で、最高齢は90歳だが、歌声は若々しく力強い。大学グリークラブなどの経験者だけでなく、まったくゼロから始める例も少なくないという。代表の菊谷泰夫さんによると、モットーは「門戸全開、経験問わず、愉快保証」。未経験者でも、皆と楽しく歌っているうちに一人前の歌い手に育つのである。

「どれだけ歌えるかというより、どれだけ一緒に楽しめるかが大事。とにかく歌って楽しむのが一番の目標です」

発足は1996年。麻生区の混声合唱団の男性メンバー有志によって結成され、徐々に団員を増やしながら練習を積んで、コンサートや地域のイベントで練り上げたアンサンブルを披露してきた。指揮者を務める地元在住の音楽家、辻端幹彦さんの指導のもと、合唱用の組曲から欧米の歌曲、日本の歌謡曲や童謡までレパートリーは幅広い。一

「一人じゃできないことが、みんなの力を借りてできる。それが合唱のいいところですね」活動の様子を語る菊谷さんの言葉も楽しげだ。「仕事を終えたらやってみよう」という次世代も門戸全開で待っている。

DATA

コーロ・マスキーレ・あさお

代表：菊谷 泰夫（きくや やすお）

連絡先：Tel. 090-5784-7005（菊谷代表）

またはホームページの問い合わせフォームから

設立：1996年11月

会員数：団員38名 指揮者、ピアニスト2名

練習日：第2、第4日曜（原則）

練習場所：柿生小学校音楽室

URL：<http://coro-asao.com/>

取材・文 区民記者 佐藤次郎

好みの画材、技法で裸婦デッサンを

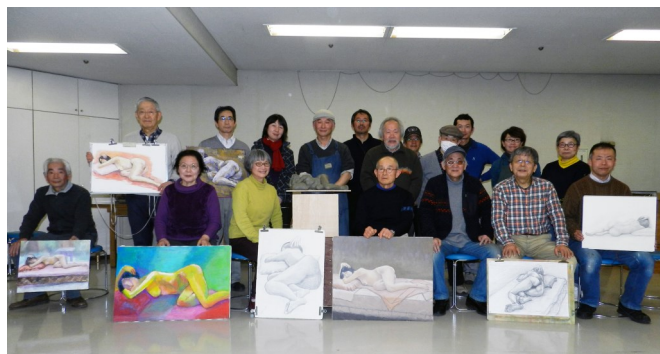
麻生区デッサン会

「では、はじめましょう」。

会の代表者で、麻生区美術家協会代表のほか多彩な活動を行っている佐藤英行さんの一言で、それまで談笑していた会員たちは、作品との対話の世界

に入っていた。

「麻生区デッサン会」は「民主的、自主的に行う会で、芸術の基本である裸婦デッサンを主体にして画材、技法にとらわれず個々の絵画を楽しく追及



例会後作品を手に。2列目中央が佐藤さん

してゆくことを目的とし、地域の文化芸術の向上に寄与する」ことを主旨とする会である。その成果を発表するため、年1回、展覧会の開催を予定している（規約から）

再び描きはじめてた女性や、絵を描きだしてから数十年というキャリアを有する男性などが、それぞれの技法を駆使し思いを込めて作品に向かっていった。佐藤さんによれば、「会での活動を通じて、さらにいい作品が期待できる。熱意のある人であれば男女を問わず歓迎します」とのこと。ちなみに佐藤さんは、麻生区シンボルマークコンペの大賞受賞者であり、麻生区のマークの生みの親でもある。

会員の年齢も40代から80代と幅広く、また画歴も入会の動機もさまざま。美大卒業後一度中断したが、この会を知り

多少の経験とマナーをこころえ、仲間を探している人にとっては、素晴らしい場所だろう。

DATA

麻生区デッサン会

代表：佐藤 英行（さとう ひでゆき）

連絡先：Tel. 090-3219-8289

E-mail h.sato-516@jcom.home.ne.jp

設立：2008年6月

会員数：22名（男性14名、女性8名）

会費：4000円/月（4回分）入会金3000円

活動日：毎週火曜 18時～20時30分

活動場所：麻生市民館実習室

取材・文 区民記者 仲原照男

ジャズが大好きな人々が自ら演奏を楽しむ「ニューリリアンサンプル」を取材した。新百合（ニューリリイ）生まれでサックス奏者、作曲・編曲家の西村先生が6年前に、埋もれた経験者を発掘しようと会を設立。当初3人からはじめ、習いごとという感覚ではなく自分の楽器を通して楽しむこと、それぞれが新しい縁を作ることを目指す。今では「麻生音楽祭」や「たま音楽祭」、「かわさきJAZZ」に出演し、頼まれれば地域の祭りや学校の行事、施設などにもでかける。



夏祭りで時衆を魅了（アカシア自治会主催2017.7）



熱意で心が一つになる
（ちゅうりん庵にて2018.2）

取材当日は中級クラスで、サックス10人、トランペット2人、ピアノとギターが各1人、もう一人の佐野先生がドラムをたたき、西村先生はiPhoneでベースを担当。ウォーミングアップの「Fly me to the Moon」ほか5曲を先生の指示で小節を区切って繰り返し練習した。ときに「タッタラッタッタ」と口ずさみ、テンポに切れをつけ、音に強弱をつけると上手に聞こえる個所を伝授。分らないときは個人的に聞きにいく。3時間の練習は途中15分の休憩をはさみ、充実した時間はアツという間に過ぎていった。

練習終了後のメンバーに聞いたが、経験者と50の手習いでビギナーからはじめた人が半々だった。ときに3つも4つも井やの付いた楽譜を読み、指を合わ

せるのは疲れるが、ボケ防止にも役立つとのこと。メンバーがストレスを感じることなく楽しめるように毎回自由参加。ときに有志で飲みに行く気さくな会だ。中級クラスのほかビギナークラスもある。気楽に一度訪ねてほしい。またぜひ演奏を聞きにいつてほしい。



本番が終わってホッと一息

DATA

ニューリリアンサンプル

代表：西村 貴行（にしむら たかゆき）

連絡先：E-mail newlily.group@gmail.com（西村）

設立：2012年4月

会員：約30名（男性20名、女性10名）20～70歳代

会費：2000円/1回

活動日：毎月2回、土曜または日曜、夕方3時間

活動場所：ちゅうりん庵（読売ランド駅北口徒歩3分）
または昭和音楽大学

URL：http://www.westernstudiovillage.net/

取材・文 区民記者 中島久幸

取材申込受け付けます！

「活動を紹介して欲しい」「イベントを取材して」
そんな声に区民記者が応えます。
お申込み内容を編集会議で検討したうえ
改めてご連絡させていただきます。

●応募条件

麻生区を拠点に活動している。または、麻生区在住・在学・在勤者が活動に参加している。

●申し込み方法

- ① 団体名
- ② 代表者名
- ③ 連絡先（電話・FAX・メール）
- ④ 活動内容（イベントの場合は開催日時・料金・内容）を、「あさお区民記者」宛てにFAXまたはメールでご連絡ください。

FAX.044-951-6467

Mail info@asao-ku.net

※但し、選挙、政党・政治団体など政治活動に関わるもの、宗教団体による布教推進を目的とするもの、プライバシーの侵害や業務妨害のおそれのあるもの、差別を助長するものは掲載できません。

あさお区民記者クラブ

「区民による 区民のための 情報発信」を目的に活動。
過去の記事や取材後記はホームページをご覧ください。

<http://www.asao-ku.net>

